

テーマ

夢が聞こえる、希望がある「とみきたスクール」

目標

地域の子どもたちの教育支援活動「とみきた塾」

今年度の取組紹介

(1) 「とみきたと」言えば、“ひつじ”……

校区の子供たちはもちろん地域の人にも有名になり、事業の広告PRも絶大でした。ひつじの世話は生徒・保護者・地域の人が毎日世話をし、交流が育ちつつあります。学校の近くには地下鉄の駅やイオンがあり、他の学校の生徒や買物客も楽しんでいます。



(2) とみきた合唱団

学校・学年の違う生徒と保護者とが“楽しく、元気”に歌いました。毎年、イオン登美ヶ丘で「クリスマス」を歌い、恒例の行事として定着しつつあり、多くの企業からも協力をいただきました。



今年度のまとめ

本年度は、教育協議会のビジョンに向かって、「とみきた塾」「サマーセミナー」を中心とした活動が活発に行われました。現在「とみきた塾」は、12講座あり401名が学んでいます。

「ひつじクラブ」は、教育協議会を代表する活動になり、地域内外から大きな注目をされています。独自のプログラムでコーディネーター研修を行い、意識の向上につながりました。

教育協議会の広報・PR活動については、年間13回マスコミに取り上げられ話題を提供しました。お互いが目的を共有し、交流できる事例が自然発生的に出てきたのは、大きな成果でした。

来年度に向けて

教育協議会が求められ、できることは何かを常に考えて活動して行きたいです。とみきた塾の講座の充実を図る為にも、「コーディネーターの育成」が最重要課題です。

テーマ

地域を大切にし、笑顔あふれる明るい学校

目標

地域の大人から学び、その知恵を生かし自分らしさを発揮する

今年度の取組紹介

学校と地域とより深く連携していくために、今年度は、生徒会本部役員との合同会議を持つことから始めました。生徒会の目指す3つの方針を理解していただきながら具体的な活動と支援をお願いしました。特に方針1、「美しい環境の中で爽やかなあいさつ」では、地域の人たちが花壇の整備をしてくれた後、一緒に花植えと管理方法などのアドバイスをもらいました。また、防災教育推進事業の炊き出し訓練では、野菜の収穫、冷凍長期保存等の作業を一緒に行ってくれたことで、災害時の非常食の段取りやそれらに関わる苦勞が体験できたことはよい経験になったと思います。また、生徒会の様々な取組の理解が広まり、近隣の公立高校からの合同募金活動や合同挨拶、ボランティア清掃などの声掛けもいただき一緒に活動する機会も増えた年度でもありました。このことは、地域にも知れわたり、本校区に於いて、とても有意義な活動として受け止められており、同時に地域の中高生たちの新しい防災活動のきっかけにもなっています。



今年度のまとめ

防災教育推進事業に於いて、一緒に活動した生徒たちは、「炊き出し準備の大変さが改めてわかった」との感想を言っています。その苦勞に対して理解を示し、またボランティアに対する心構えなどに変化が見られるようになり、校内の美化活動が活発になりました。このことひとつでも、地域の大人から学ぶことの大切さが理解され、さらには自分たちで地元の清掃活動を計画するところまで成長してくれました。地域の大人と関わるのが、地域のつながりを活性させ、その中で果たすべき自分たちの役割と責任を理解してくれたことは、大きな収穫であったと感じる1年でした。

来年度に向けて

今年度は、オリジナルのゆるキャラ「とみーぷ」が誕生したこともあり、それらのグッズを使って来年度は、学校ブランド力を高めていきたいと考えています。また、学校活動に幅広い年齢層の方々に参加を求め、理解を求めていきたいです。

テーマ

「地域やなかまと共に育む登美っ子」

目標

ふれ合いをとおして、心豊かな登美小っ子を育てる。

今年度の取組紹介

《体験学習事業（ゲストティーチャーによる授業）/ふれあい事業》

◆お茶づくり体験 / 奈良筆作り体験 / 読み聞かせボランティア【おはなしの森】 / 獣医師によるいのちの授業～いきものといっしょ 等

さまざまな体験授業を実施してきました。児童たちは初めての体験でその楽しさや難しさを知り、また、ふれあいや体験を通じて、「命」の尊厳を学んでいます。さらに伝統ある仕事に取り組んでおられる方の思いなどを学ばせ、これからの学校生活などに生かしていくことができる取組でした。



《環境整備活動事業》

◆通学路清掃、花壇整備、図書環境整備

保護者の方や学校近隣の方に学校環境の整備を進めていただいています。特に図書整備や花壇整備をしていただいています。その様な活動の様子を見ている児童も多く、その仕事の様子や環境整備の大切さを知る良い機会になっています。



今年度のまとめ

子どもたちは、日頃見ることのできないミュージカルやお茶作り、奈良筆作りなど 様々な体験学習を通して多くの事を学びました。また、ふれあい学習や体験学習での人との関わりや命の大切さを学びました。多くの「人・もの・こと」が生活の中に関わっている大切なことであり、これからも「心豊かな登美っ子」を意識させることができる貴重な学習や体験であったと思います。

来年度に向けて

学年に応じた様々な体験学習や行事等を通じて、今後ももっと保護者の方や地域の方々と連携を深め、さらなる交流・繋がりをもつことにより、心豊かな登美っ子の育成を目指してまいります。

テーマ **学校が好き、自然が好き、地域とともに輝ける東登美っ子**

- 目標
- ・地域の教育力を生かした体験学習や読書活動を充実させる。
 - ・恵まれた自然の中での環境整備や栽培学習を深める。
- 心身ともに強くたくましい子どもを育てる—

今年度の取組紹介

○1年昔遊び体験（1月14日）

今年も、地域「まちづくり協議会」の方が中心になり地域老人会よりたくさんのボランティアの方々に昔遊びを教えてくださいました。

子どもたちと地域が一緒になり、寒い中でも暖かい雰囲気です。「コマ回し」「竹とんぼ」等、笑顔いっぱいの体験学習となりました。



○2・3年虫博士体験（9月29日、10月5日）

2年の生活科や3年の理科学習で、地域の「虫博士さん」に知識と体験を上手に伝授していただきました。公園での昆虫採集方法や実体験を踏まえた楽しい時間でした。この時間から理科学習に興味・関心をもつ子どもが増えたようです。

○朝読・お話の会・図書ボランティア（常時活動）

朝の読み聞かせは、1、2年生の各クラスで、地域ボランティアの方に毎月約2回ずつしていただきました。全校一斉の「お話の会」も定着し、児童の読書習慣はかなり身につけています。また、地域「図書ボラ」のおかげで、使いやすく整った図書室で読書をしています。ボランティアの方も増えつつあります。



今年度のまとめ

○年間を通して、各学年の体験学習事業は充実していました。地域の教育力を上手に教育課程に取り入れ、学校が目指す「生きる力」を育む一助として大いに役立っていたと思います。

○常時活動として定着している「読書活動推進事業」は、年々活性化しつつあります。地域ボランティアが積極的に活動し、人材も増えつつあるのはうれしいことです。

○「ひがしとみガーデン」の環境整備はかなり整ってきました。道具の工夫や児童常時活動を中心に草花等を栽培し、学習や遊びに役立っています。草木の剪定等では、地域ボランティアの方々にお世話になっています。

来年度に向けて

○今年度の取組を継続・推進します。学校が目指す「生きる力」を育み、「期待する子ども像」を達成するため、地域の教育力を生かした事業を進めます。

○事業推進のための人材確保がこれからも必要です。本校は、児童数が多く、事業を実施する際にもかなり人手が要ります。募集をかけることも大切でしょう。

テーマ

わくわくどきどき地域と共に歩む幼稚園

目標

様々な感動体験をする中で豊かな心ややろうとする意欲を育みたくましく
生きる幼児の育成
自分たちの地域に親しみをもち愛着を持つ幼児の育成

今年度の取組紹介

地域のゲストティチャーを迎えての“お話の会”では回を重ねるごとに静かに集中して話を聞く態度が見られました。手遊び・素話・大型絵本と話の中に園児は惹きつけられました。「地域であったことがある。」「今日の話おもしろかった。」という声が毎回聞かれ豊かな心情や話を聞く態度が育まれたと思います。またコーディネイターの方の紹介で地域の方に親子野菜栽培や米作りを手伝っていただいたり、苗植え矢肥料乃やり方についてアドバイスをいただきました。園児は積極的に観察日記をつけたり、毎日大きくなる様子を見て稲の高さを測ったりしました、その様子に保護者の方も興味を持ち、親子で成長を見守る姿がありました。今年度初めて親子野菜栽培活動や米作りに地域の方の協力を得ることができたのが良かったと思います。収穫もでき、「たくさんしゅうかくができました。」「こんなにして稲（米）ができるのは初めて知りました」という声も聞かれました。その他地域の施設・学校・地域の中学生とのサッカー教室などは地域の方に温かく受け入れて下さって感謝しています。園内の花壇の整備事業では四季の花を園児が植え水やりや草引きをしたり保護者や地域の方の協力も得て園内の花壇などを整備しています。



今年度のまとめ

地域の人々の出入りが多い地域で人との希薄さが見られる地域で幼稚園が中心となって地域との連携を持つことが大切だと思われました。地域の方々の教育力を生かした取組で保護者は地域を知り、子どもたちが育っていく姿を感じることが出来たと思われます。また地域の方の協力で野菜・米作りは子どもたちが初めての経験で感動は大きいものでした。不思議だな、大きくなっているだろうかという疑問が芽生え育まれました。

来年度に向けて

今年度同様に地域の教育力を生かした活動や施設との交流や園内の花や苗を植えたり、親子で野菜栽培活動を引き続き続けて行きたいと思ひます。地域の幼稚園の役割をアピールするホームページの更新も続けていきたいと思ひます。在園児だけでなく、地域の未就園児にも幼稚園を知ってもらう機会を作っていきたいと思ひます。

テーマ

ふれあいいっぱい 楽しい幼稚園

目標

様々な人々との温かなふれあいをもち、感動体験を通して自分の思いや考えを表現し豊かな心を育てる。

今年度の取組紹介

地域や保護者の方の協力を得て様々な人々や自然、出来事とふれあう機会をもち、心揺さぶられる感動体験を計画しました。

☆草刈りモウモウクラブの方には草刈り・樹木の剪定・花壇や畑作りなど、環境整備や野菜作りに大変お世話になりました。なかよし農園では、たくさんできたさつま芋をおうちの人や地域の人と一緒に収穫したり食べたりしました。

☆10月に開催された「登美ヶ丘フェスタ」では、幼稚園でヒツジが4日間生活をしたことで、お家の方も一緒にふれあいを楽しむことができました。園内作品展ではかわいい3頭のヒツジを作りました。

☆楽しんで体を動かす子どもの育成を目指しゲストティーチャーを招いてサッカースクールを実施しました。最初は緊張する姿も見られたが、いろいろなボール遊びを教えてもらったりチャレンジしたりするうちにコーチや中学生にも親しみをもちサッカースクールを楽しみにする姿が見られるようになりました。そのほかにもゲストティーチャーを招いた科学遊びでは、空気鉄砲で出たけむりのドーナツを、目を輝かせて見ていました。



【ヒツジ歓迎セレモニー】



【園内作品展】



【サッカースクール】

今年度のまとめ

- 様々な体験を通して園児たちは身近な人とのかかわりをもつことができました。周りの人の優しさや愛情を受けることで、楽しさや感謝の気持ちをもつことができました。
- 様々なゲストティーチャーを招いてのふれあい感動体験事業では、フリー参観を設け園児の様子を保護者の方に見ていただく機会を設けたことで「子どもの様子がよくわかった」「芋掘りは、親子で楽しい経験ができた」などの声がきかれ、幼稚園教育の理解や地域の方と関わる機会になりました。

来年度に向けて

- 保護者に地域教育協議会や本園の取組を積極的に知らせると共に幼稚園と地域とのかかわりをさらに深めていきたいです。
- 「人・もの・できごと」との出会いを大切に楽しい経験を積み重ねていくことで、今後も豊かな心を育てていきたいと考えます。